

平和の尊さ、 戦争の悲惨さを後世に

□広島へ平和使節団を派遣

市は昭和63年3月、非核平和都市を宣言し、平和の尊さ、核戦争の悲惨さを後世に伝えることを目的として、さまざまな事業を行っています。昨年は、市内公立中学校からの代表8人を含む、総勢13人の使節団を派遣しました。今年も、総勢13人の使節団を派遣します。

【派遣スケジュール】

7月25日(金)：結団式および事前学習会

8月5日(火)～7日(木)

・平和祈念式典への参加

・平和記念資料館などの見学

・太田川の灯籠流しに参加

〈参加者の声〉

平和記念資料館を見学した中学生は、「展示されている一つひとつのものが、今から62年前に起こった、あの日・あのとときの悲劇を物語っているのだと感心しました」と話してくれました。

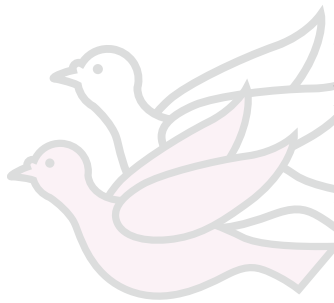
被爆62年の平和祈念式典では、慰霊碑に花束を供える人々の姿や、代表者の誓いの言葉が強く生徒の心に残ったようで、平和への思いをより強いものにしていました。

□千羽鶴の作成

今年も、市民の皆さんが折った千羽鶴を、平和使節団が代表して「原爆の子の像」へ捧げます。

また、市民課窓口前に、千羽鶴用折り紙を用意していますので、待ち時間などを利用して、ご協力をお願いします。

問総務課 (☎826・1111 内線2200)



昨年の平和使節団

◎原爆パネル展の開催

被災写真および絵画を展示します。

とき／8月1日(金)～15日(金)

※月曜日は休館

ところ／二中地区公民館、三中地区公民館

◎原爆死没者慰霊と平和祈念の黙とう(1分間)にご協力をお願いします。

・広島…8月6日(水) 午前8時15分

・長崎…8月9日(土) 午前11時2分



昨年の原爆パネル展来館者数／上大津公民館…319人、都和公民館…840人(いずれも開催期間中の人数)

原爆ドーム (平成8年 世界文化遺産に指定)

昭和20(1945)年8月6日午前8時15分、原爆の被害により崩れた元「広島県産業奨励館」は、誰が言うともなく「原爆ドーム」と呼ばれるようになりました。原爆によって半径2kmにおよぶ市街地が廃墟と化し、この悲惨な事実を後世に伝え人類の戒めとするため、建物の残部に補強工事を施し、これを永久に保存することにしました。その工事費は国の内外にわたり、平和を願う多数の方々から寄せられたものです。